



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 株式会社セブン銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8410 URL <https://www.sevenbank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舟竹 泰昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員企画部長 (氏名) 河田 久尚 (TEL) 03-3211-3041  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(表示単位未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	33,437	1.1	7,626	△9.1	5,448	△19.5
2021年3月期第1四半期	33,067	△10.3	8,395	△24.4	6,776	△11.0

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 6,060百万円(△7.7%) 2021年3月期第1四半期 6,569百万円(△15.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2022年3月期第1四半期	円 銭 4.63	円 銭 —
2021年3月期第1四半期	5.75	5.74

(注) 2022年3月期第1四半期における「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年3月期第1四半期	百万円 1,204,331	百万円 234,412	% 19.3
2021年3月期	1,197,158	234,676	19.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 232,867百万円 2021年3月期 233,269百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年3月期	円 銭 —	円 銭 5.50	円 銭 —	円 銭 5.50	円 銭 11.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,600	△2.5	12,700	△32.4	8,900	△37.4	7.56
通期	137,600	0.2	28,300	△20.5	19,700	△23.9	16.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	1,179,308,000株	2021年3月期	1,179,308,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	3,587,793株	2021年3月期	3,587,793株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	1,175,720,207株	2021年3月期1Q	1,178,346,080株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
 (別紙) 2022年3月期 第1四半期決算補足資料	

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。  
説明会の音声は、開催後当社WEBサイトで掲載する予定です。

2021年8月6日（金） アナリスト・機関投資家向け決算説明会（電話会議）

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

## ・当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響により、依然として厳しい状況にあります。ワクチン接種の進展により、先行きについては徐々に回復することが期待されます。しかし、断続的に緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が発令される中、サービス消費をはじめとする個人消費や企業活動への影響は、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、お客さま、お取引先さま、従業員の安全確保を最優先に、「安心・安全」なATMサービス等を提供し続ける社会インフラとしての使命を果たすことに努めてまいりました。人流回帰によるATM総利用件数の持ち直しにより増収となる一方、銀行向けの新たなATM受入手数料体系の導入、第4世代ATMを含む将来へ向けた成長投資・費用増加を主因に、当第1四半期連結累計期間の当社連結業績は、経常収益33,437百万円、経常利益7,626百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益5,448百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、経常収益27,307百万円、経常利益7,461百万円、四半期純利益5,089百万円となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
経常収益	33,067	33,437	1.1%増
経常利益	8,395	7,626	9.1%減
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,776	5,448	19.5%減

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

## ①国内事業セグメント

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から引続き厳しい状態にあります。感染拡大防止策が講じられる中、預貯金金融機関の取引件数が持ち直したことに加え、当社ATMを利用した各種キャッシュレス決済への現金でのチャージ取引件数が順調に増加したことにより、ATM総利用件数は前年同期を大きく上回る水準で推移いたしました。

2021年6月末現在のATM設置台数は25,785台（2020年6月末比2.0%増）、当第1四半期連結累計期間のATM1日1台当たり平均利用件数は95.7件（前年同期比12.0%増）、ATM総利用件数は223百万件（同14.4%増）となりました。なお、2021年6月末現在の提携金融機関等は615社（注）、第4世代ATMの入替設置は順調に進捗し、2021年6月末時点での設置台数は7,493台となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、先行き不透明な事業環境が予想されますが、ATMの社会的価値を現金プラットフォームからサービスプラットフォームへと進化させ、社会の変化・お客さまニーズの変化に柔軟に対応したATMプラットフォーム戦略を今後も推進してまいります。

（注）JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

	2021年3月期		2022年3月期	
	第1四半期 連結累計期間	通期	第1四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■ATM1日1台当たり平均利用件数	85.4件	90.5件	95.7件	95.5件
■ATM期間総利用件数	195百万件	836百万件	223百万件	902百万件
■ATM台数	25,260台	25,676台	25,785台	26,226台

また、スマートフォンアプリ「Myセブン銀行」は、オンラインでの本人確認に対応し最短10分で口座開設ができる即時口座開設サービスに加え、シンプルで使いやすいUI・UXを高く評価いただき、2021年6月末現在、累計ダウンロード数は77万件となっております。個人のお客さまの預金口座数は、2,415千口座（2020年6月末比8.7%増）となりました。個人向け預金残高は5,292億円（同8.5%増）、個人向けローンサービスの残高は251億円（同11.0%増）となりました。

当社は社会の変化に伴い顕在化・深刻化する社会課題解決への貢献をビジネス機会と捉え、これまで培ったノウハウに加え、外部企業とも連携し、さまざまなお客さまのニーズに応じた新たな金融サービスを提供することを目指してまいります。

	2021年3月期		2022年3月期	
	第1四半期 連結累計期間	通期	第1四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■個人口座数	2,221千口座	2,364千口座	2,415千口座	2,563千口座
■個人向け預金残高	4,876億円	5,190億円	5,292億円	5,413億円
うち普通預金残高	3,527億円	3,832億円	3,942億円	—
うち定期預金残高	1,348億円	1,357億円	1,350億円	—
■個人向けローン残高	226億円	243億円	251億円	265億円

## ②海外事業セグメント

米国における当社連結子会社のFCTI, Inc. は、景気を持ち直しが継続していることに加え、米国政府による給付金支給等の景気刺激策による効果もあり、前年同期を上回るATM利用件数となりました。米国セブン-イレブン店舗以外に設置している低採算ATMを計画的に整理し、2021年3月末時点でATM設置台数は9,432台（2020年3月末比12.3%減）、うち米国セブン-イレブン店舗内設置ATMは8,622台（同1.6%増）となりました。また、FCTI, Inc. の連結対象期間（2021年1～3月）の業績は、前年より実施している米国セブン-イレブン店舗以外に設置している低採算ATMの整理に加え、政策金利が低位で継続推移したことによる資金調達費用の低下等により経常収益52.6百万米ドル（前年同期間比9.4%減）、経常利益6.3百万米ドル（同45.0%増）、四半期純利益6.1百万米ドル（同45.4%増）となりました。

インドネシアにおける当社連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONALは、コロナ禍においても堅調に事業を推進し、2021年3月末時点のATM設置台数は1,059台（2020年3月末比296.6%増）と大幅に増加しております。

また、フィリピンにおける当社連結子会社Pito AxM Platform, Inc. は、2021年2月にATM運営事業を開始し、フィリピン国内のセブン-イレブン店舗へATM設置を行い、2021年3月末時点のATM設置台数は132台となっております。

## （2）財政状態に関する定性的情報

総資産は1,204,331百万円となりました。このうちA T M運営のために必要な現金預け金が924,041百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が75,958百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるA T M仮払金が104,524百万円となっております。

負債は969,919百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高（譲渡性預金を除く）は782,097百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は394,278百万円、定期預金残高は135,020百万円となっております。

純資産は234,412百万円となりました。このうち利益剰余金は167,656百万円となっております。

（財政状態）

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	増減
総資産	1,197,158	1,204,331	7,173
負債	962,482	969,919	7,436
純資産	234,676	234,412	△263

## （3）業績予想に関する定性的情報

現時点では2021年5月7日発表の業績予想に変更はありません。

ただし、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が当社事業に大きな影響を与える可能性もあり、今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	937,945	924,041
有価証券	78,154	75,958
貸出金	24,329	25,196
外国為替	0	0
A T M仮払金	83,681	104,524
その他資産	17,442	17,874
有形固定資産	19,218	20,643
無形固定資産	34,857	34,580
退職給付に係る資産	909	940
繰延税金資産	707	612
貸倒引当金	△88	△39
<b>資産の部合計</b>	<b>1,197,158</b>	<b>1,204,331</b>
<b>負債の部</b>		
預金	782,658	782,097
譲渡性預金	750	750
借用金	591	609
社債	105,000	105,000
A T M仮受金	47,046	57,806
その他負債	25,098	22,071
賞与引当金	610	829
退職給付に係る負債	6	6
株式給付引当金	634	665
繰延税金負債	87	81
<b>負債の部合計</b>	<b>962,482</b>	<b>969,919</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	30,724	30,724
資本剰余金	30,724	30,717
利益剰余金	168,694	167,656
自己株式	△1,081	△1,081
<b>株主資本合計</b>	<b>229,061</b>	<b>228,016</b>
その他有価証券評価差額金	440	421
為替換算調整勘定	3,407	4,080
退職給付に係る調整累計額	359	348
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>4,207</b>	<b>4,850</b>
非支配株主持分	1,407	1,545
<b>純資産の部合計</b>	<b>234,676</b>	<b>234,412</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,197,158</b>	<b>1,204,331</b>

## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自2020年4月1日 至2020年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自2021年4月1日 至2021年6月30日）
経常収益	33,067	33,437
資金運用収益	896	965
（うち貸出金利息）	865	928
（うち有価証券利息配当金）	8	10
役務取引等収益	31,906	32,141
（うちATM受入手数料）	30,096	30,057
その他業務収益	37	79
その他経常収益	226	251
経常費用	24,671	25,810
資金調達費用	132	137
（うち預金利息）	18	13
役務取引等費用	8,987	8,740
（うちATM設置支払手数料）	7,034	7,010
（うちATM支払手数料）	858	530
営業経費	15,336	16,616
その他経常費用	215	316
経常利益	8,395	7,626
特別利益	1	174
固定資産処分益	1	5
持分変動利益	—	168
特別損失	36	131
固定資産処分損	36	131
税金等調整前四半期純利益	8,361	7,669
法人税、住民税及び事業税	1,391	2,165
法人税等調整額	229	104
法人税等合計	1,620	2,269
四半期純利益	6,740	5,399
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△36	△49
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,776	5,448



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）
四半期純利益	6,740	5,399
その他の包括利益	△170	661
その他有価証券評価差額金	△18	△19
為替換算調整勘定	△148	691
退職給付に係る調整額	△3	△10
四半期包括利益	6,569	6,060
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,665	6,092
非支配株主に係る四半期包括利益	△95	△31

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当第1四半期連結会計期間の期首残高へ与える影響はありません。

また、当該会計基準等の適用により当第1四半期連結累計期間の損益及び1株当たり情報に与える影響はありません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

前連結会計年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 1(1)連結財務諸表」の「注記事項（追加情報）」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

## 2022年3月期 第1四半期決算補足資料

### 目 次

1. 四半期財務諸表（単体） .....	補足2
(1) 四半期貸借対照表（単体） .....	補足2
(2) 四半期損益計算書（単体） .....	補足3
2. 自己資本比率（国内基準）の状況 .....	補足4
(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況 .....	補足4
(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況 .....	補足4

## 1. 四半期財務諸表（単体）

## (1) 四半期貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
現金預け金	927,647	911,637
有価証券	91,173	90,151
貸出金	24,350	25,147
外国為替	0	0
A T M仮払金	83,152	104,160
その他資産	14,587	15,163
有形固定資産	17,194	17,913
無形固定資産	32,518	32,235
前払年金費用	369	415
繰延税金資産	759	675
支払承諾見返	769	1,953
貸倒引当金	△164	△229
資産の部合計	1,192,358	1,199,224
負債の部		
預金	784,892	784,617
譲渡性預金	750	750
社債	105,000	105,000
A T M仮受金	47,046	57,806
その他負債	21,216	17,524
賞与引当金	363	633
株式給付引当金	634	665
支払承諾	769	1,953
負債の部合計	960,671	968,952
純資産の部		
資本金	30,724	30,724
資本剰余金	30,724	30,724
利益剰余金	170,879	169,483
自己株式	△1,081	△1,081
株主資本合計	231,246	229,850
その他有価証券評価差額金	440	421
評価・換算差額等合計	440	421
純資産の部合計	231,687	230,272
負債及び純資産の部合計	1,192,358	1,199,224

## (2) 四半期損益計算書（単体）

## 第1四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）
経常収益	26,524	27,307
資金運用収益	905	959
（うち貸出金利息）	875	926
（うち有価証券利息配当金）	8	10
役務取引等収益	25,484	26,067
（うちA T M受入手数料）	23,801	24,167
その他業務収益	37	74
その他経常収益	96	205
経常費用	18,403	19,845
資金調達費用	130	128
（うち預金利息）	18	13
役務取引等費用	4,856	5,242
（うちA T M設置支払手数料）	3,863	4,102
（うちA T M支払手数料）	131	181
営業経費	13,334	14,394
その他経常費用	82	80
経常利益	8,120	7,461
特別損失	25	129
固定資産処分損	25	129
税引前四半期純利益	8,094	7,332
法人税、住民税及び事業税	1,368	2,149
法人税等調整額	1,116	92
法人税等合計	2,485	2,242
四半期純利益	5,609	5,089

## 2. 自己資本比率（国内基準）の状況

## (1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況

	2021年6月末
連結自己資本比率（国内基準）	49.39%

(参考) 2021年3月末
47.93%

## (2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況

	2021年6月末
単体自己資本比率（国内基準）	53.84%

(参考) 2021年3月末
54.59%